



INTERVIEW

豊かな人間関係が生まれる施設として期待しています

豊里区長
まさよし
勝野公貴さん

「しゃくなげ荘」は、遠方からの友人と泊まったり、隣近所の新年会を行ったり、40年間憩いの場となってきました。新しい温浴施設でも、温泉という地域の資源を生かした健康増進の場、「人」を中心に豊かな人間関係が生まれる施設になることを期待します。また、諸先輩が開拓し、農業が盛んな私たちの区では、農産物直売所があるビフ穂高との相乗効果も期待できます。施設整備により人や車の流れも変わることから、交通安全対策も市にお願いしたいと思います。

今後の整備スケジュール

平成 25 年 8 ～ 9 月
市民意見募集

平成 25 年 9 月
建設用地購入

平成 26 年 1 月
実施設計完成

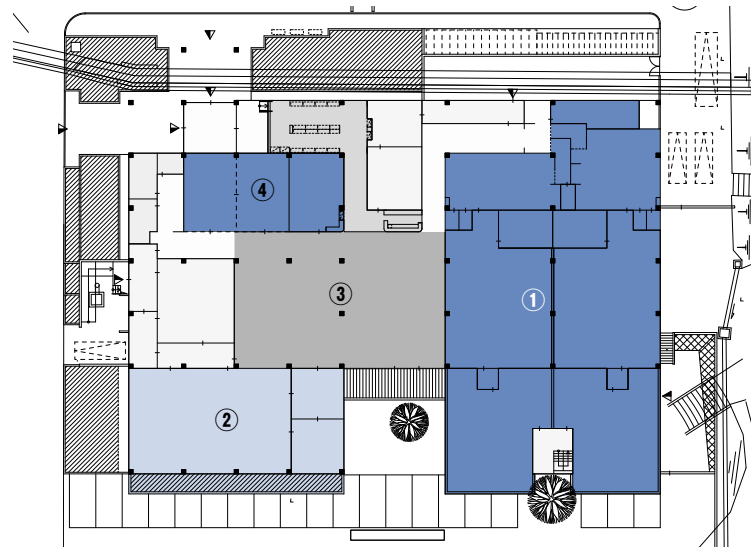
平成 26 年 4 ～ 5 月
入札・契約

平成 26 年 6 月
建設工事着手

平成 27 年 7 月
完成・営業開始

温浴施設の配置・内部の概要

●フロアの配置計画



②～④の各部屋は、施設内外で行われる催しの内容に応じて互いに組み合わせて使用できます。

①浴場（内湯・露天風呂）

内湯・露天風呂とも、主浴槽には天然温泉を使用し、ほかにもジェットバス、寝湯、サウナ等を計画します。また、浴場は男女で趣を変え、定期的に男女の浴場を入れ替えます。貸切浴室を併設し、介助が必要な人や家族での利用にも対応します。

②飲食スペース

囲炉裏を中心にテーブル席、小上がり席を設け、屋外にはテラス席を設けます。また、屋外テラスは外部階段により直接、利用することができます。

③ロビー・イベントスペース

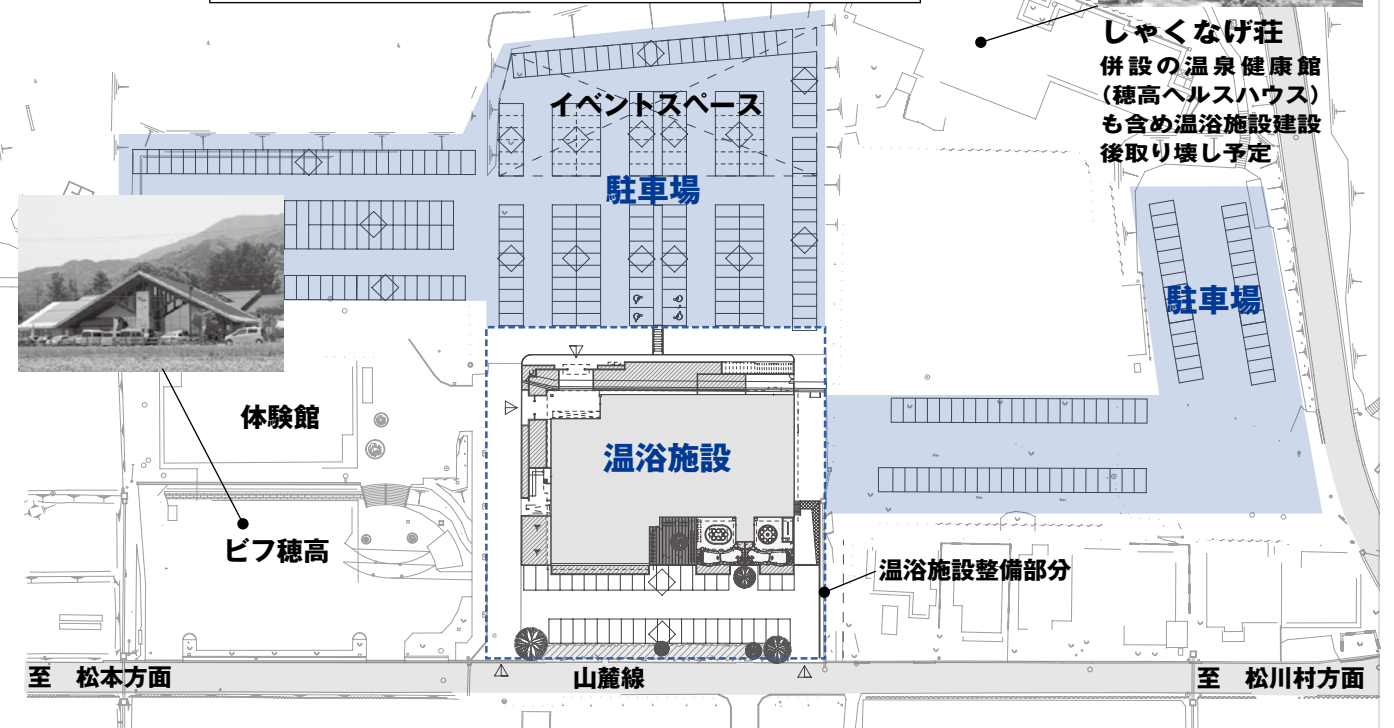
くつろぎの場や各種イベント会場としての利用以外にも、健康増進器具や観光情報コーナー、テークアウトコーナー（地産食材による飲み物・軽食の提供）を計画します。

④多目的スペース

市民の皆さんが地域交流活動の場として、各種催事など多目的に利用できるスペースです。可動間仕切りで部屋を3つ仕切れることもでき、また、大きく1室として利用することができます。もう1室は畳敷きでの利用も計画しています。

事業規模（温浴施設整備部分）

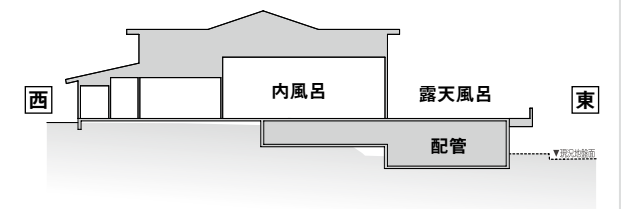
- ・計画面積 延床面積 約1,700平方メートル
- ・計画事業費 約8億円（設計費、備品含む）
- ・主な財源 合併特例債・公共施設整備基金・一般財源



●建物の配置計画

- ①隣接するビフ穂高との連携により、相乗効果が期待できます。
- ②レストラン、ロビー、露天風呂から安曇野の眺望を楽しめるよう配慮しています。
- ③施設内の各部屋はイベントなど用途に合わせて組み合わせ活用ができます。
- ④ビフ穂高と共用できる約300台の自動車が駐車可能な駐車場を整備します。（別途事業費による）
- ⑤施設管理面での動線と、設備機器の配置、床暖房等への温泉余熱利用などに配慮しています。

断面図



敷地の高低差を利用し、地下に配管ピットを配置し、配管などを短くすることで設備維持管理経費を削減します。

温浴施設の機能や設備など皆さんのご意見をお寄せください

市では温浴施設の建設に向けて実施設計に取り組みます。そこで市民の皆さんから親しまれる施設とするための機能や設備について意見を募集しますので気軽にご応募ください。

●応募方法 任意の様式に住所・氏名・連絡先・提案内容をご記入の上、郵送、ファクス、電子メールでお送りください。

●募集期間 平成25年8月21日（水）から9月20日（金）まで

●送付先 399-8303 安曇野市穂高6658番地穂高総合支所内 観光課

FAX 82・6622 E-mail kankou@city.azumino.nagano.jp

平成27年7月の
完成を目指します

詳細な設計を進めるにあたり、次のような点に配慮します。
市民の交流の場、イベント会場として多目的に使用できます

フロア内の各スペースは、施設で行われる各種イベントの用途に応じて多目的に使用できるようにします。

また、隣接するビフ穂高と連携したイベントなどでの相乗効果が期待できます。

環境負荷や

維持管理費の軽減に配慮します

建設にあたり、温泉熱を活用した床暖房や敷地の高低差を利用して床下配管を短くするなど、環境負荷や維持管理費の軽減に努めます。

今後は、市民の皆さんからの意見を募集し、平成26年1月までに実施設計をまとめます。建設工事は平成26年6月に着工を予定し、平成27年7月のオープンを目指します。

穂高総合支所内観光課

TEL 82・3131(代) FAX 82・6622